

## 2019年度NACCSプログラム変更要望一覧（2018年度緊急等対応案件）

No.	業務区分	業務内容	業務コード	変更等事項	使用頻度	現行内容	変更等要望内容	効果	検討結果
H31-023	海上貨物	簡易貨物情報登録（SCR）のデータ保存期間	SCR	簡易貨物情報登録（SCR）のデータ保存期間延長	年間200件程度	簡易貨物情報登録（SCR）はデータ保存期間が土日を含む4日間となっているが、申告するまでにデータが消えてしまう場合がある。	簡易貨物情報登録（SCR）はデータ保存期間が土日を含む4日間となっているが、輸入申告控えと同様に10日間の保存期間として頂きたい。	簡易貨物情報登録（SCR）はデータ保存期間を延長する事により、輸入申告控と同様の保存期間とすることで、申告データの消失を防ぐ事が出来、スムーズな申告が可能となる。	平成31年3月17日に実施済みです。 仕様変更の項番：6N-18-024
H31-038	航空貨物	OLT（AIR NACCS）の情報出力	OLT	AIR NACCSのOLT時に、保税運送貨物情報を保税蔵置場に配信	年間50件程度	AIR NACCSのOLTが保税蔵置場に配信されない。	SEA NACCSと同じように保税蔵置場にOLTを配信する。若しくは、AIR NACCSのOLTの出力の有無を保税蔵置場の選択制とする。	SEA NACCSに慣れている港湾地区の営業倉庫でも、SEA NACCS使用時と同じようにAIR NACCSも使用出来るようにする。	平成30年12月20日に実施済みです。 仕様変更の項番：6N-18-008
H31-046	貨物共通	移入承認	IDA	保税工場でAIR NACCSが使用出来る様にして欲しい	4回/1月	・IM（移入）で入荷する外貨品はSEA NACCSでの保税工場の登録は出来るがAIR NACCSは使用出来ないで片道1時間かけて税関へ提出している。 （2H+0.5H）×4=10H/1ヶ月 ・保税蔵置場はSEAもAIRもNACCSが使え	・保税品（IM）はSEAでもAIRでも保税工場に登録する	「併せ運送通知情報」が出力されるので処理ミスが防げる。保税担当者の時間の拘束が減る。	平成30年12月20日に実施済みです。 仕様変更の項番：6N-18-007
H31-074	通関共通	汎用申請業務	HYS	申請手続種別コードの追加	二日に1回	汎用申請業務の対象外	「輸出等申告撤回」を汎用申請業務として追加	自由化申告にて蔵置官署以外の税関官署に申告した場合、即時の申告撤回が必要な案件に対応できない。申告撤回に時間を要するため、顧客からの苦情に繋がり、リカバリーするための追加費用が発生することがある。通関業者の業務・費用負担の軽減が期待できる。	平成31年1月7日に実施済みです。
H31-102	通関共通	管理資料	EEC等	管理資料として配信希望	都度	①EEC 輸出取止め再輸入申告を実施しても、I51輸入申告一覧データ等に含まれず、管理資料として配信されない。 ②開庁申請件数が配信されない ③管理資料の配信、今は10項番のみである ④マニュアル申告（カルネ、別送品等は配信されていない）	通関業取扱明細簿に記載が必要な以下の申告等についてI51輸入申告一覧データ等を含めて配信を希望します。 ①輸出取止め再輸入申告 ②開庁申請件数 ③他法令（食品、植検等） ④見本持出申請 ⑤マニュアル申告（カルネ、別送品等）	営業報告書に記載すべき実績件数を検証する資料となりうる。取扱明細簿への記載漏れを防ぐ事が出来る。	①②ご要望を満たす管理資料については、出力内容の調整が必要であることから、来年度以降に実施可否について継続して検討します。 ③食品届に係る管理資料については、平成31年3月17日に実施済みです。また、動植物検疫に係る管理資料については、変更規模が大きくなることから、単年度での対応は難しいため、中年度更改又は第7次NACCS更改時での実施可否について継続して検討します。
H31-167	海上入出港	入港前統一申請	WPT	(WPT)入港前統一申請（運航情報不使用）	多い	アップロードした船員情報を読み込む作業の際、その読み込んだ情報内容（中身）を画面にて確認出来ない為、読み込みすべきファイルの選択を間違えう可能性がある。 実際弊所にてこの事象が発生したが、大事に至る前に変更処理を行う事ができた為事なきを得た。 本事象はシステム不具合ではありませんが、一歩間違えば法令違反にも繋がりが兼ねない事象である為改善が必要と考えます。	アップロードファイル名に対象船名を追記するなどの対策を講じているが、当該作業中に読み込んだファイル内容の確認、更にはその編集まで出来る様にして頂きたい。	アップロードしたファイルの内容の確認・編集を可能とするためには、制限事項や費用が過大であるなどの問題があることから、2020年度以降に実施可否を含め継続して検討します。 なお、ファイル名については、アップロードされたファイルの名前に信号符を付加するプログラム変更を、平成31年2月26日に実施済みです。	仕様変更の項番：6N-18-017
H31-191	損保	包括保険使用実績データ		インボイス番号のカンマ区切り対応	お客様毎に月に1回	包括保険使用実績データの「インボイス番号」につき、お客様側でインボイス番号をカンマで区切って入力するケースがあり、その場合、GSVファイルレイアウトが崩れるため、システムへの取込等に不具合が生じる。	「インボイス番号」の項目を、ダブルクォテーション付加項目としてほしい。	「インボイス番号」内でカンマが入力されていてもGSVファイルレイアウトが崩れず、正しい項目値の把握が可能となるため、システムへの取込時に都度人手でのレイアウト修正が不要となる。	平成30年12月20日に実施済みです。 仕様変更の項番：6N-18-011